



左のグラフは高齢者に関する世帯の内訳を示したグラフです。
平成12年と令和2年を比較すると、高齢者同居世帯は3・6ポイント低下している一方で、高齢者の独居世帯は3・4ポイント上昇していることが分かります。以降は、住宅で安心した生活を送るための取組を紹介します。

私たちが皆さんの安心づくりの「窓口」です

◆ 健康長寿課 長寿支援グループ (内線260-263)

- 高齢福祉に関すること
- 緊急医療情報キット配布事業
- 養護老人ホームの入所指置
- シルバー人材センター
- 長寿祝金 敬老訪問
- 老人クラブ
- 福祉タクシー
- 生活支援ハウス
- 金婚式
- 介護保険に関すること
- 介護保険の資格の取得・喪失
- 介護手当、家族介護支援事業（介護）
- 住宅改修、福祉用具購入（介護給付）
- 「食」の自立支援
- 高齢者地域支え合いグループ（地域通報体制整備事業）
- 高齢者元気度アップ事業など

◆ 高齢者のあんしん相談窓口 「地域包括支援センター」

TEL 472-1111-1
(内線880-884)

- 介護保険などの制度の話だけではなく、元気に暮らすための健康づくりの方法、介護予防、高齢者虐待に関することなど、相談内容は多岐にわたります。
- 小さなことでも相談を
- 相談は、電話・窓口どちらでも受け付けています。また、訪問による対応も可能です。現在の生活や今後に不安があるときは、ひとりやご家族で抱え込まずに、一声お相談ください。

◆ 各支所の窓口

TEL 474-1111-1
総務市民課 市民グループ

係機関や地域の方々との連携が、相談

国の中高齢化率（65歳以上人口の総人口に占める割合）は、国立社会保障・人口問題研究所による日本の将来推計人口によると、令和7年（2025年）に29.6%、令和22年（2040年）に34.8%に到達すると予想されています。

本市では、全国平均より高齢化は早く進行しており、令和12年（2030年）には高齢化率が40%を超えることが予想されています。

市では、令和7年1月の組織機構改革により、健康長寿課 長寿支援グループに高齢者の支援部門を集約し、高齢者に対してより一貫的な支援が出来るよう取組を進めています。今回の特集では、相談窓口および高齢者施策の一部についてご紹介します。



特集 高齢者の安心は — 地域の安心 —

図表：高齢化率の推移（鹿児島県・全国との比較）



図表：高齢者を含む世帯の推移



本市の高齢化率を全国・鹿児島県と比較すると、いずれの年度においても全国・鹿児島県よりも高い割合で推移しています。

左のグラフを見ると、平成12年以降、本市の一般世帯数は減少傾向にあることが分かります。一方で、一般世帯数のうち、高齢者を含む世帯の割合は上昇していることが分かります。

気になる本市の高齢化率

本市の一般世帯数は減少傾向にあることが分かります。一方で、一般世帯数のうち、高齢者を含む世帯の割合は上昇していることが分かります。